

# 米子市職員定員管理計画の概要について（令和5年3月策定）

## 1. 期間

令和5年4月1日～令和10年4月1日（5年間）

## 2. 策定主旨

我が国の近時の重要課題の一つに、2040年頃に高齢者（65歳以上）の人口が最大となり、生産年齢人口の減少がピークを迎える「2040年問題」がある。当然、本市としても、税収減などの財政への影響や労働力不足に対応していく必要があり、今からまちづくりや行財政運営の変革にチャレンジしていかなければならない。

今後、まちづくりの諸課題への対応、行財政改革・DX推進への取組をさらに効率的・効果的なものとするとともに、引き続き、健全財政を維持しつつ行政サービスを安定的に提供することができる持続可能な行政体制の構築を目的に、今後の5年間における職員数の管理方針として「米子市職員定員管理計画」を策定する。

## 3. 中期的な定員管理の展望と目標

### (1) 中期的な展望

「2040年問題」による生産年齢人口の減少やこれに伴う労働力や税収の減少などの社会情勢の変化、さらには今後の少子化対策、増嵩する扶助費、老朽化するインフラ施設の更新などにより、財政環境はより厳しさを増すことが想定される。

そのため、業務の民間委託・移管を含む民間事業者等との連携協力を引き続き推進することはもとより、今後もDX推進による業務効率化などの取組をさらに進めることで、職員数を適切に縮減し、かつ、人的資源が必要とされる分野に再配置していく必要がある。

### (2) 中期的な目標

米子市の人口推計（米子市まちづくりビジョン）による生産年齢人口は、2020年からの10年間で約5.3%減少すると推定されることを踏まえ、今後の10年間(令和5年度～令和15年度)において5%(47人)の職員数を削減。

## 4. 今後の5年間の定員管理計画

### (1) 基本的な考え方

ねんりんピック（全国健康福祉祭）への対応を踏まえ、令和6年度までの計画数は横ばいで推移とし、令和7年度以後の計画数は、中期的な定員管理の目標に向け段階的に減少させていく。

### (2) 令和10年度までの計画

今後の5年間において約2.2%(20人)の職員数を削減。

年度（4月1日時点）	R5.4.1	R6.4.1	R7.4.1	R8.4.1	R9.4.1	R10.4.1
計画職員数	929	929	924	920	914	909

計画期間中の定員の増加要因、減少要因等

<p>増加要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動支援体制の強化</li> <li>・重層的支援の充実に向けた体制の強化</li> <li>・フレイル対策の充実に向けた体制の強化</li> <li>・義務教育学校の開設に向けた体制の整備</li> <li>・史跡(米子城跡など)の整備に向けた体制の強化</li> <li>・令和6年度開催のねんりんピック(全国健康福祉祭)及び令和7年度開催の全国高等学校総合体育大会の推進体制の整備</li> <li>・DX推進・基幹業務システム更新に向けた体制の強化 など</li> </ul>
<p>減少要因</p>	<p>・DX推進などによる業務改善による効率化(窓口業務及び定型業務等の効率化・省力化など)          ※第4次米子市行財政改革大綱において「正規職員40人役相当以上の業務の自動化・省力化を行う」という数値目標を掲げている。これにより捻出された人役の一部は、対人支援業務などに再配置するとともに、職員数の削減にもつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート窓口の運用による窓口業務の縮小</li> <li>・オンライン申請(電子申請)や証明書コンビニ交付の拡大による窓口業務の縮小</li> <li>・施設型給付費審査支払業務の鳥取県国民健康保険団体連合会への委託</li> <li>・保育所の統廃合、民営化</li> <li>・水質検査業務の民間委託</li> <li>・市営住宅管理業務の外部委託</li> <li>・米子駅南北自由通路等整備事業の完了</li> <li>・下水道使用料の徴収業務の民間委託</li> <li>・下水道整備10年概成後(R9年度以降)の下水道業務の見直し など</li> </ul>
<p>その他</p>	<p>・職員定年延長制度導入に伴い、前年度に定年退職者が生じない各年度における定年退職者数の2分の1を越えない範囲での職員採用の前倒し実施</p>